



概要版

東西線沿線 まちづくりの基本方針

進化する都市・仙台

～ 東西線が創る新しい暮らしと仙台の未来～



平成25年7月
仙台市

CONTENTS

I 章 基本方針の改定と今後の推進	
基本方針の改定	1
基本方針の位置づけ	1
多様な主体の連携による沿線まちづくりの推進	2
II 章 沿線まちづくりの方針	
基本的な考え方	3
方針1 「安全安心で暮らしやすい街」の創造	3
方針2 「魅力的で楽しい街」の創造	4
方針3 「活力にあふれた元気な街」の創造	5
方針4 「個性的で美しい街」の創造	5
方針の基礎となる都市基盤の整備	6
「市民協働のまちづくり」の推進	6
III 章 沿線の新たな交流促進	
沿線の新たな交流を促進する取組み	7
東西線で変わる市民の暮らし	8
IV 章 駅ごとのまちづくり目標と取組施策	
基本的な考え方	11
共通の取組み	12
八木山動物公園駅	13
青葉山駅	15
川内駅	17
国際センター駅	19
大町西公園駅	21
青葉通一番町駅	23
仙台駅	25
宮城野通駅	27
連坊駅	29
薬師堂駅	31
卸町駅	33
六丁の目駅	35
荒井駅	37
沿線における主要なまちの施設・資源	39

I 章 基本方針の改定と今後の推進

基本方針の改定

地下鉄東西線事業は、本市における最大級のプロジェクトであり、市民にとっても、企業にとっても、あるいは地域団体や教育機関にとっても、最大限のメリットが享受できるようにする必要があります。人やものの新たな交流軸が生まれるのみならず、様々な沿線資源等の情報を連結し、新しい価値を生み出していくことが期待されています。

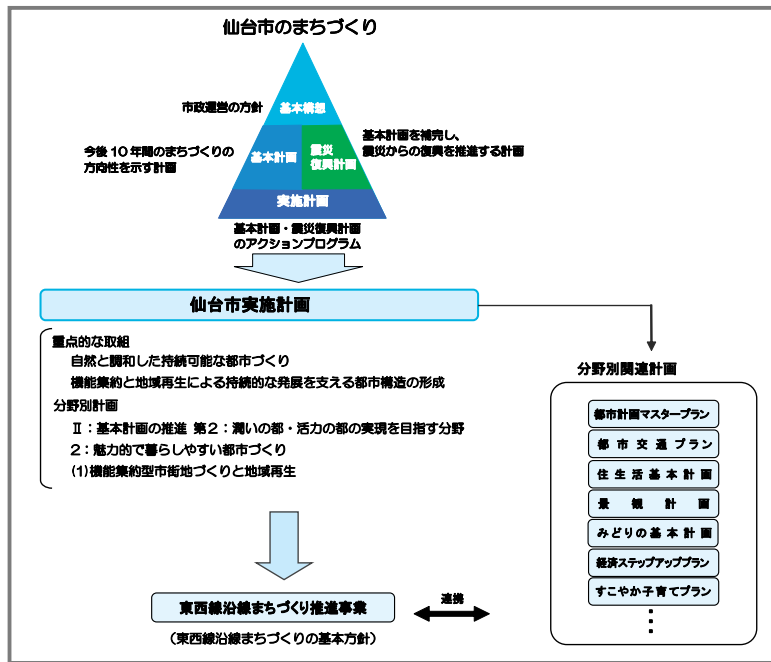
また、震災を経た市政を取り巻く環境の変化に対応すると共に、市民の東西線開業に向けた気運の盛り上げをサポートし、市民交流の拡大、コミュニティの活性化のため、東西線をフルに活用し、開業に向けたPR、キャンペーンを行うことや、市民が主体となる新たな沿線の魅力向上のための取組みを進めていくことにより、さらなる沿線まちづくりも進展していく必要があります。そして、市民ひとりひとりがそれぞれの立場で、ワクワク、ドキドキしながら、東西線を盛り上げ、楽しく活用し、より豊かな生活を体感できるよう、市民一丸となり全力で取り組んでいき、沿線全体の活性化を図ることを目指します。

以上のことから、これまで取り組んでいる市民協働によるまちづくりの視点を明確に打ち出し、復興の先を見据えた新たなまちづくりを市民協働のもと推進していくため、今般、「東西線沿線まちづくりの基本方針」を改定し、現在進めているまちづくりを更に加速していきます。

基本方針の位置づけ

基本方針は、「仙台市基本計画」及び「仙台市震災復興計画」に掲げる総合的なまちづくりの方針並びに仙台市実施計画に掲げられた東西線沿線まちづくり推進事業に基づき都市計画マスタープラン等の関連計画と連携した東西線沿線まちづくりの方向性を示します。計画体系上の位置づけについては、右図のように整理されます。

■ 東西線沿線まちづくりの基本方針の位置づけ



多様な主体の連携による沿線まちづくりの推進

基本方針で提示する施策を効果的に進め、沿線まちづくりの理念を実現するためには、市民、事業者、行政など多様な主体が連携、協力して取り組むことが重要です。

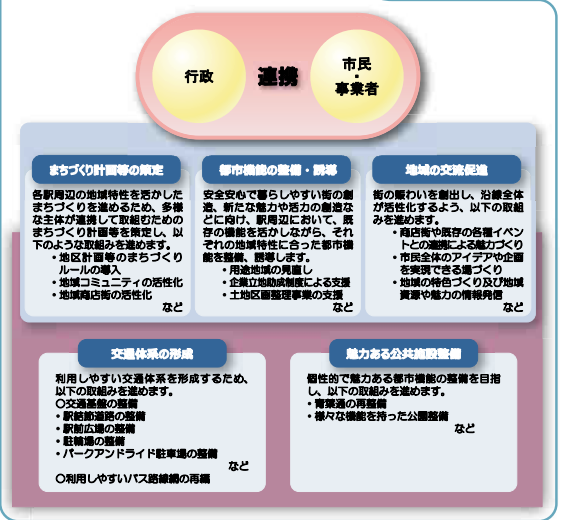
現在、八木山動物公園駅、大町西公園駅、青葉通一番町駅、薬師堂駅、卸町駅及び荒井駅等の駅周辺において、地下鉄東西線整備を契機としてまちづくりに取り組む地域主体の組織が設立され、まちづくりの課題や方向性について検討が進んでいます。こうした検討成果も踏まえながら、地域との協議を進め、市民、事業者、行政がそれぞれの役割分担のもとで、都市機能の整備、誘導、まちづくりのルールを導入などに向け、連携、協力した取組みを推進します。

また、こうした地域主体の各取組みがさらに沿線全体に広がるよう誘導し、これまで以上に、市民、事業者、行政など多様な主体が連携、協力する市民協働のまちづくりを行っていくことは、復興の先を見据えたまちづくりを進める上で、大変重要な要素となります。

そこで、道路や公園、公共施設など都市基盤の整備を行政が着実に推進すると共に、これらを活用してもらえようとする市民主体のソフト施策を展開していくことが必要となります。特に、まちのにぎわいを創出し、市民ひとりひとりが中心となったイベント等、日々沿線において何かが催されているような新たな交流文化を生み出していくことなどにより交流人口の拡大が見込まれます。

また、各駅に「駅の顔・売り」があるような地域に密着した特色のある地下鉄駅をつくり、市民に活用してもらえるよう資源の発掘や魅力の発信を行うことが必要となります。そのために、市民が主体となって参加でき、アイデアや企画を実現できる場づくりを行政と市民が協働して展開し、沿線まちづくりの推進を図っていきます。

東西線沿線まちづくりの進め方



施策展開の構成

